

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	総合実習Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	280 (7) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部4年	学期	前期	教室名	
担 当 教 員	小嶋 高広				
実務経験とその関連資格	理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)に7年間、丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に3年間勤務。 主に整形外科疾患・スポーツ障害を有する症例患者を対象とした外来リハビリテーションに従事。年間100症例以上を担当。 野球やゴルフ領域の研究発表・論文が複数。認定理学療法士(運動器)、修士号(スポーツ健康科学)取得。				
《授業科目における学習内容》					
臨床実習後、学校で1症例についてレジュメを作成し、実習報告会にてその成果を発表してもらう。					
《成績評価の方法と基準》					
実習評価、学内報告会					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける。理学療法士として働くことを意識し、自分はどのような職場で働き、どのような理学療法士になりたいかを考えて行動すること。学生として可能な限り患者様に適切な対応ができるように、しっかりと事前準備をすること。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	各実習施設において総合実習			
第2回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	学内において、実習成果の発表、および成果の共有			
第3回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第4回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第5回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			